

移動した外国人の状況は

横山 陽仁（みどり21）



Q 新型コロナウイルスの影響で移動した外国人の状況は。

A 3月～7月の外国人が世帯主の転出は152世帯。就職、転職、転職、退職によるものは101世帯。152世帯のうち海外への転出は29世帯あった。

Q 親の就労の状況により退学となった子どもは。

A 市内の外国人学校に対して聞き取りをした結果、退学となった子は80人ほどいた。

Q 生活に困窮し、生活保護の申請は。

A 外国人世帯の生活相談は222件あったが、失業手当の受給などで、生活保護の申請に至る事例はなかった。

Q 特別給付金10万円の給付状況は。

A 5月21日の申請書発送の際に、QRコードを掲載し外国語で説明する国のホームページへの誘導を行った。市のホームページで、



ポルトガル語や英語による紹介をする等したことで、8月31日現在1734世帯で受け取ることができた。

Q 日本の学校に該当しないブラジル人学校への援助は。

A 4月に訪問した際に、食料に困っていると聞き、危機管理課の非常食を配布した。それ以外に市内の小中学校に通う外国人児童、生徒の状況を聞いた。

他に「日本の小中学校に就学する外国人へのコロナの影響」について質問しました。

赤堀庄太郎先生の功績

織部 光男（無所属）



赤堀先生は、去る6月14日に94歳で逝去。17日に告別式。

【赤堀先生の経歴】

平成10年度まで7年間アエル初代館長。

平成28年演奏家協会会長離任、相談役就任。旭日双光章を受章。

楽器開発（鍵盤リコーダ試作、鍵盤ハーモニカ、指揮用オルガン）

作曲活動（小笠北小学校・横地小学校の校歌、他400曲余り）

Q この功績をたたえ、感謝の意志を表す考えは。

A 赤堀氏は、平成17年から文化会館アエル運営委員を務められ、平成23年からは委員長にも就任、市の表彰候補者の一人になり得るものと理解している。

Q 告別式ではアエルの館長が甲辞を読んだ。館長は「市長にもぜひ甲辞を」と言い、市長は書いてくれた。残念なのはこの甲辞の代



文化会館アエル

他に「新型コロナウイルス危機と財政・事業改革」について質問しました。

読者がなく、司会者が読みあげたこと。私はひどい仕打ちではではないかと思う。菊川市の為に働き、頑張る基になるのは感謝の気持ち。この最も大切なことを忘れては困る。告別式があった6月17日、特別職3名は何の行事があったのか。

A 市長は会議、打合せ、企業との協定締結式。副市長は会議と打合せ、教育長は校長会等。